

中国産業概観 【中国自動車業界レポート(2023年3月)】

2023年4月

みずほ銀行(中国)有限公司

中国アドバイザリー部

MIZUHO

瑞穗銀行

中国自動車業界レポート(2023年3月)

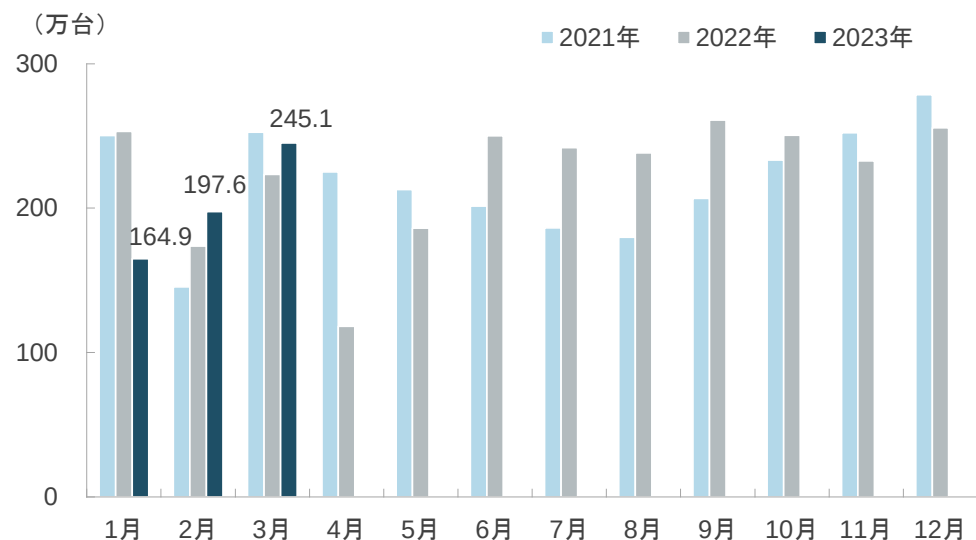
- 1 自動車販売台数
 - 1.1 自動車生産・販売台数2
 - 1.2 乗用車市場3-4
 - 1.3 日系三強5
 - 1.4 NEV6-9
 - 1.5 商用車市場 10
- 2 在庫 11
- 3 新発売のモデル 12
- 4 業界動向 13
- 5 中古車市場 14

1.1 自動車生産・販売台数

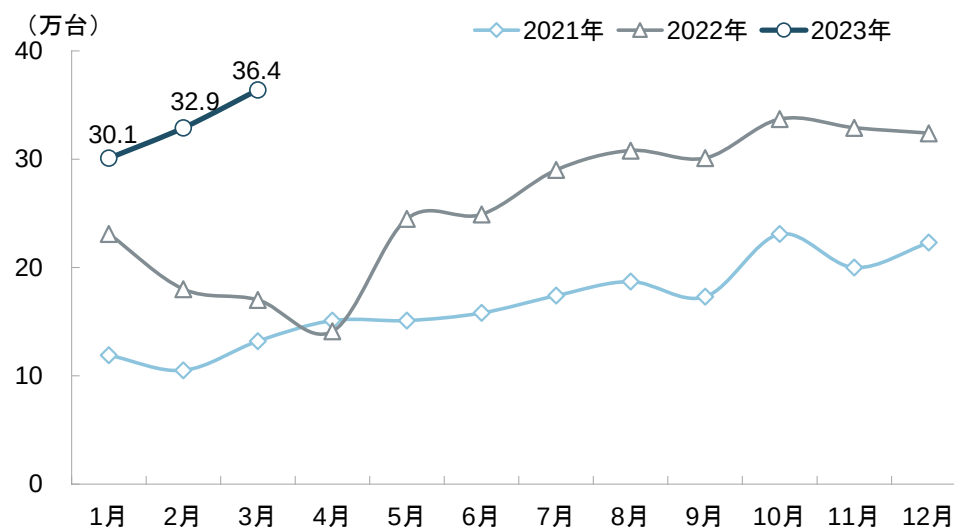
【中国自動車業界レポート(2023年3月)】

- **自動車市場は回復の兆し**: 大規模な販促活動の展開により国6a排出基準の在庫及び一部のNEVモデルなどの販売が活発化、市場に大きな動きがもたらされた。2023年3月の中国自動車生産台数は前年同月比15.3%増、前月比27.2%増の258.4万台、販売台数は前年同月比9.7%増、前月比24.0%増の245.1万台と伸びを維持している。第1四半期累計では生産台数は前年同期比4.3%減の621万台、販売台数は同6.7%減の607.6万台。
 - ✓ 乗用車: 3月の販売台数は前年同月比8.2%増、前月比22.0%増の201.7万台。第1四半期の累計販売台数は前年同期比7.3%減の513.8万台。
 - ✓ 商用車: 3月の販売台数は前年同月比17.4%増、前月比34.3%増の43.4万台。第1四半期の累計販売台数は前年同期比2.9%減の93.8万台。
- **輸出の急激な伸び**: 2023年3月の自動車メーカー輸出台数は前年同月比2.1倍、前月比10.6%増の36.4万台。昨年に続き力強い伸びを維持している。うち、乗用車は前年同月比2.5倍、前月比12.3%増の30.4万台、商用車は前年同月比19.8%増、前月比2.6%増の5.9万台。NEVは前年同月比4.9倍増、前月比10.3%減の7.8万台。自動車メーカー第1四半期累計輸出台数は前年同期比70.6%増の99.4万台、うちNEVは同2.1倍の24.8万台。

中国自動車月次販売台数(2021-2023年)



中国自動車月次輸出台数(2021-2023年)



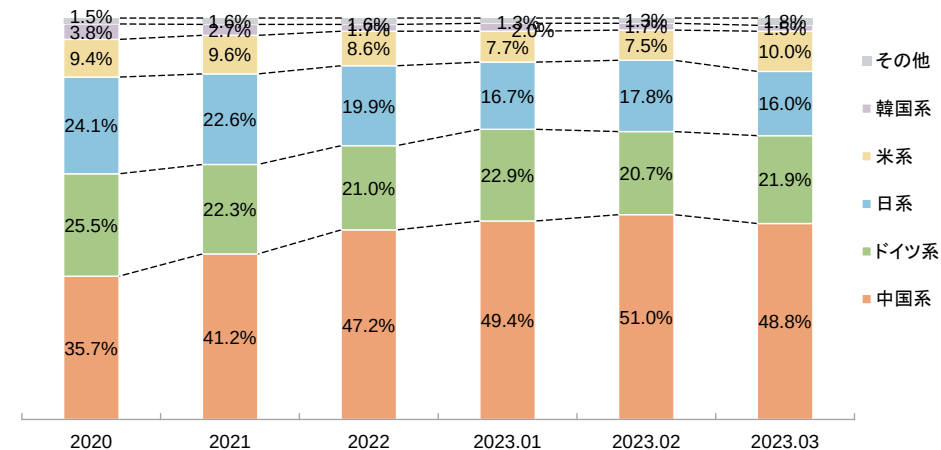
出所: 中国汽車工業協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.2 乗用車市場①

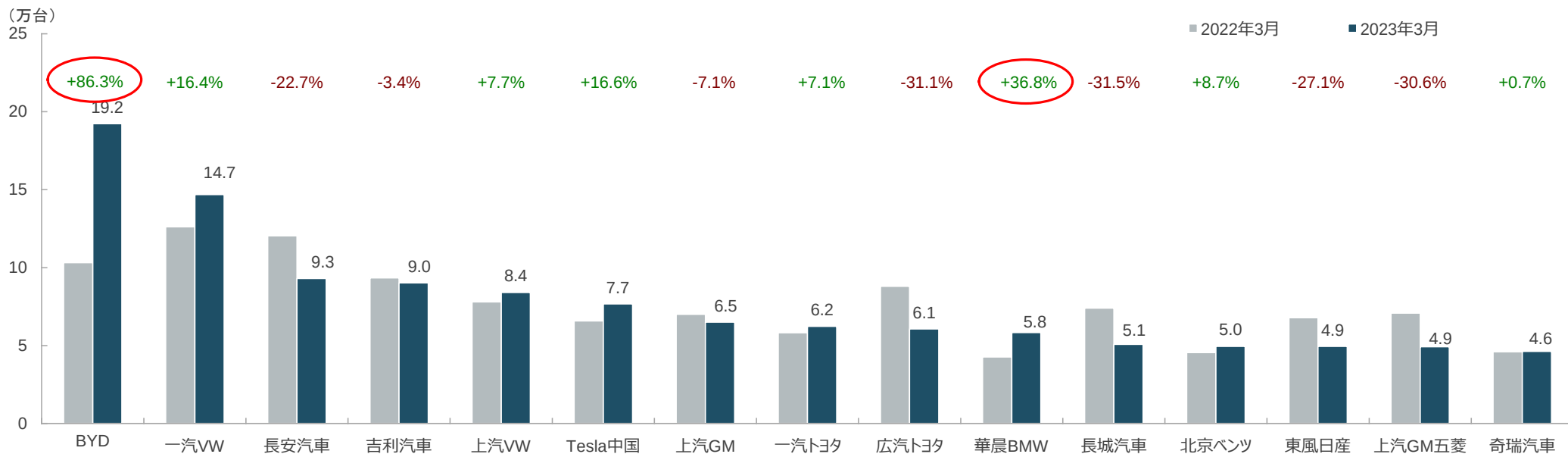
【中国自動車業界レポート(2023年3月)】

- **乗用車メーカー販売台数**: 2023年3月、乗用車メーカー小売台数Top15のうち8社が前年同月比増。うちBYD(+86.3%)、華晨BMW(+36.8%)の伸び幅が大きい。一方大きく下げたのは广汽トヨタ(▲31.1%)、上汽GM五菱(▲30.6%)等。販売台数CR10は74.0%。
- **ブランド国別市場シェア**: 3月、中資系のシェアは前月比2.2pt低下の48.8%。日系も同1.8pt低下した。ドイツ系と米系がシェアを伸ばした。

ブランド国別市場シェア(2023年3月)



乗用車メーカー小売台数Top15(2023年3月)



出所: 中国汽車流通協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

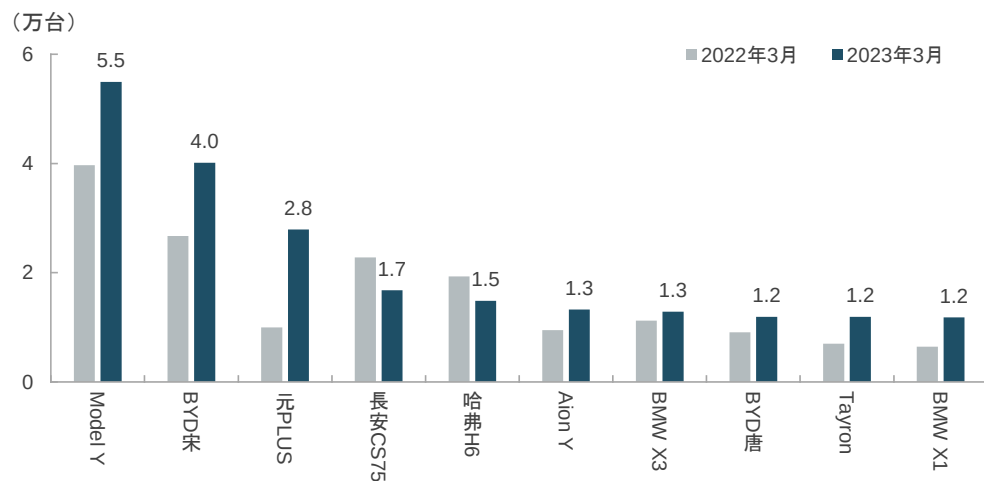
1.2 乗用車市場②

【中国自動車業界レポート(2023年3月)】

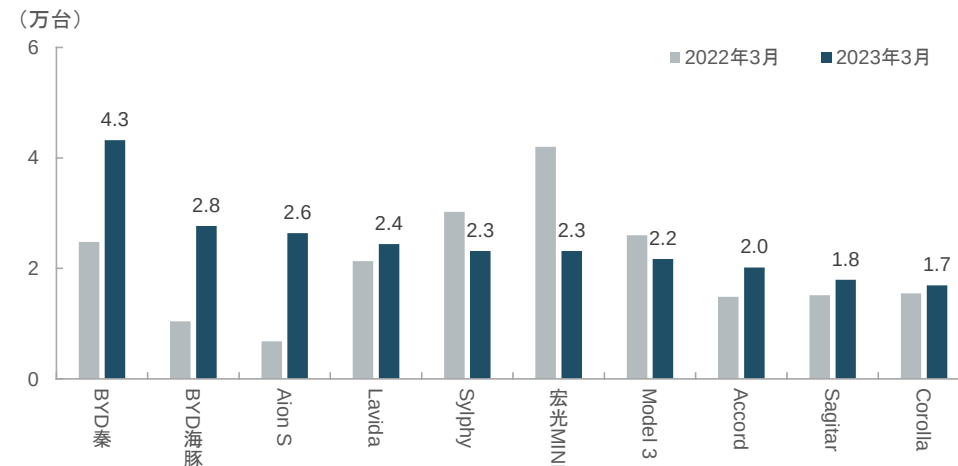
■ 乗用車モデルTop10

- ✓ **セダン**: Top10のうち、日産Sylphy、宏光MINI及びModel 3 は前年同月比減、その他7モデルは同増となった。うち、广汽埃安Aion S(+288.2%)、BYD海豚(+165%)等が高い伸び。セダン総販売台数CR10は32.3%。
- ✓ **SUV**: 四半期末はTeslaの集中納品にあたり、Model Y が5.5万台でトップ。BYD宋、元PLUSがすぐ後ろを追う。長安CS75と哈弗H6の2モデルのみが前年同月比減。Top10合計販売台数は21.7万台、総販売台数CR10は29.7%。
- ✓ **MPV**: GL8がトップに振り返り、NEVでは騰勢D9が急成長、1万台超を売上げ、第3位に躍り出ている。MPV総販売台数CR10は68.5%。

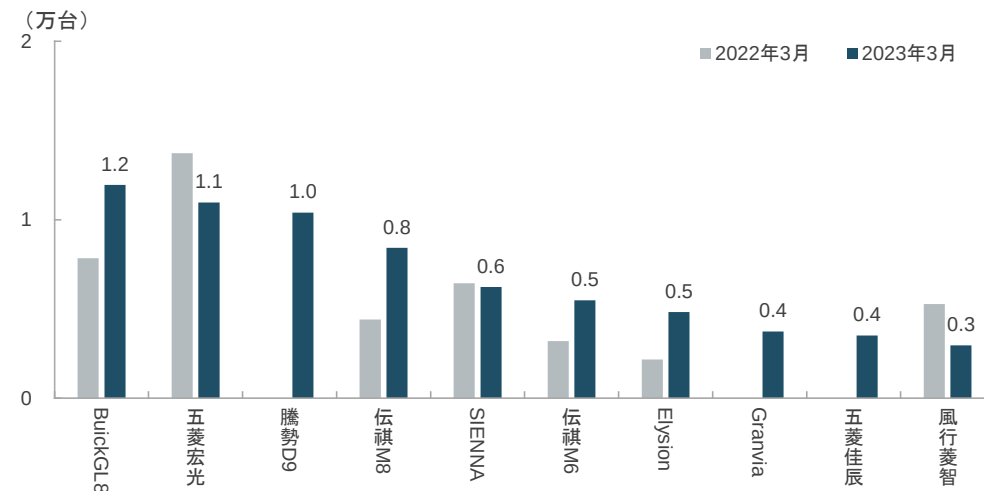
SUV販売台数Top10 (2023年3月)



セダン販売台数Top10 (2023年3月)



MPV販売台数Top10 (2023年3月)



出所: 中国汽流通協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

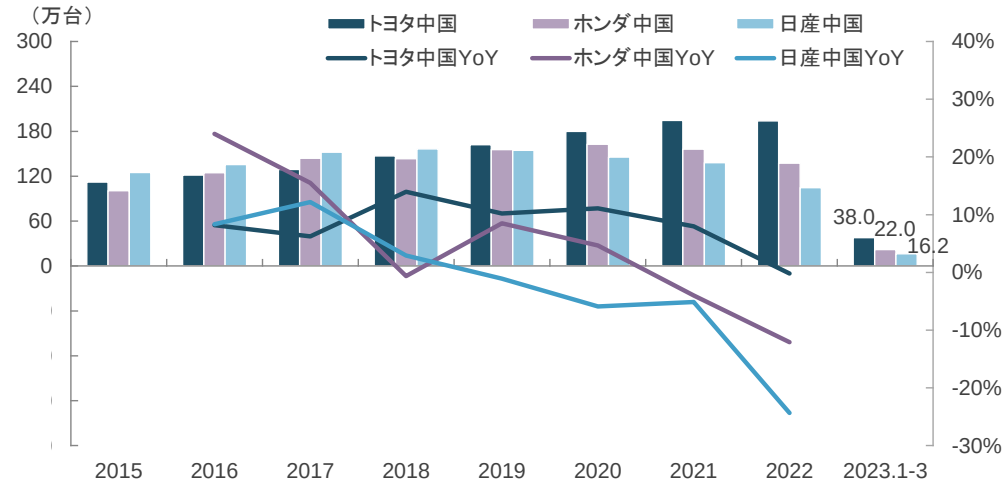
1.3 日系三強

【中国自動車業界レポート(2023年3月)】

■ 日系三強:3月はトヨタとホンダが前月比増となった一方、日産は同減となった。

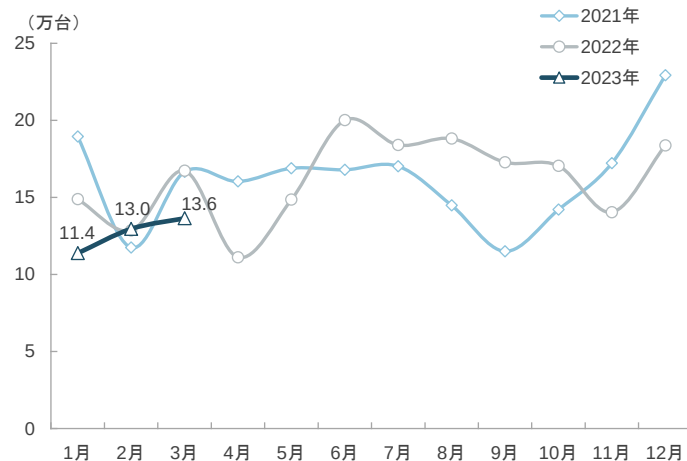
- ✓ **トヨタ中国**:3月の販売台数は前年同月比18.5%減、前月比5.2%増の13.64万台。1-3月累計販売台数は前年同期比14.6%減の37.98万台。Camry、Highlander、SIENNA等が人気。
- ✓ **ホンダ中国**:3月の販売台数は前年同月比18.9%減、前月比10.6%増の8.2万台。うち広汽ホンダは前年同月比28.4%減、東風ホンダは同15.1%減。1-3月のホンダ中国累計販売台数は前年同期比37.7%減の22.03万台。
- ✓ **日産中国**:3月の販売台数は前年同月比38.1%減、前月比9.3%減の5.44万台と下げ幅がやや拡大。1-3月、日産中国の累計販売台数は16.19万台、うち乗用車(日産、Venucia、INFINITI)は15.15万台。

各社年間販売台数

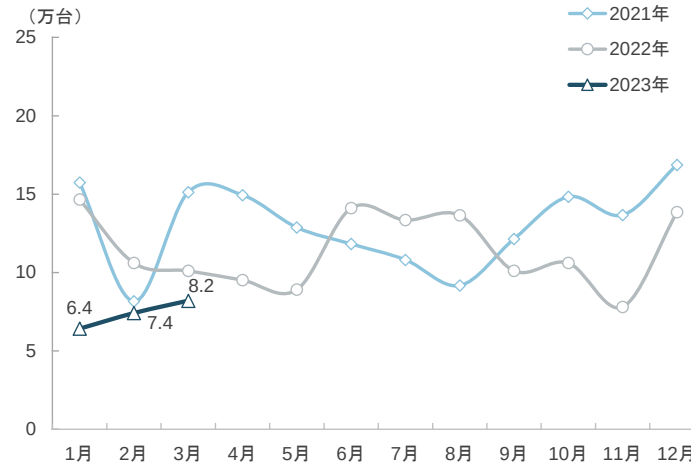


各社月次販売台数

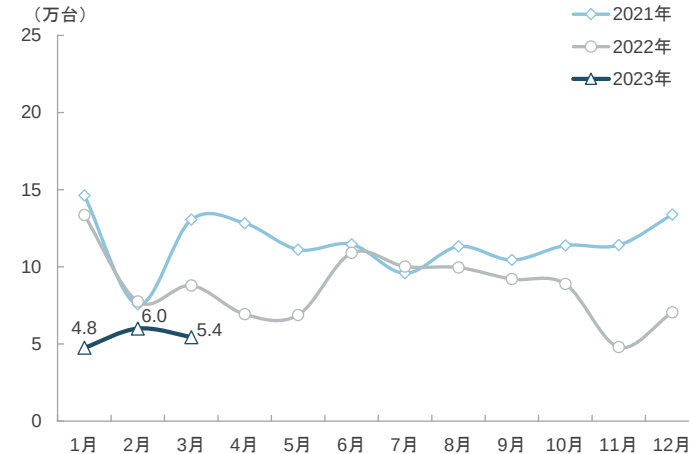
TOYOTA



HONDA



NISSAN



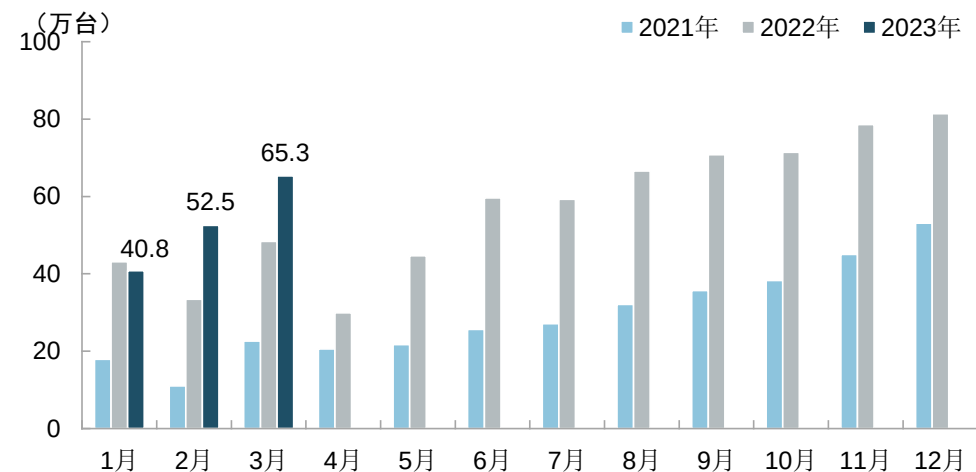
出所:各社ウェブサイトの発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.4 NEV①

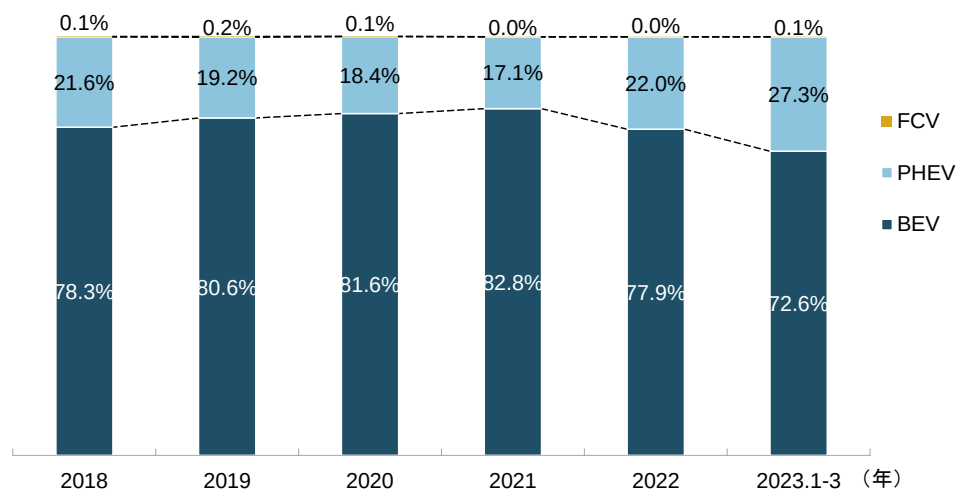
【中国自動車業界レポート(2023年3月)】

- **NEV販売台数**:NEVメーカー各社の値下げにより、3月のNEV生産台数は前年同月比44.8%増の67.4万台、販売台数は同34.8%増の65.3万台。うちBEV販売台数は49.0万台、PHEVは16.3万台。第1四半期の累計販売台数は前年同期比26.2%増の158.6万台。
- **動力別構成比**:PHEVの販売台数構成比は2021年以降拡大が続く。3月末時点のPHEV構成比は27.3%。中資系メーカー各社がPHEVに力を入れていることから、今後も拡大が続く見通し。
- **新車販売台数に占めるNEVの割合**:3月の新車販売に占めるNEVの割合は26.6%と前年同月比4.9pt上昇、前月比横ばいとなった。

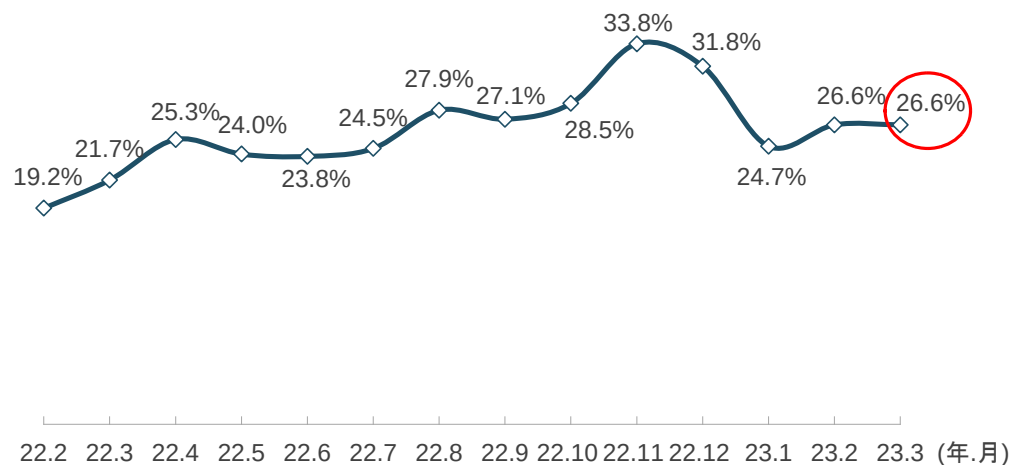
中国NEV月次販売台数(2021-2023)



NEV販売台数動力別構成比



新車販売台数に占めるNEVの割合



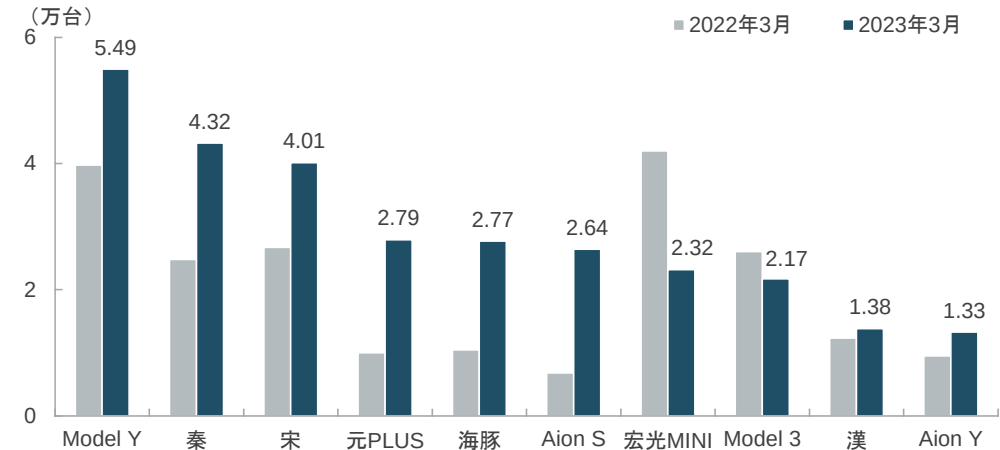
出所: 中国汽車工業協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.4 NEV②

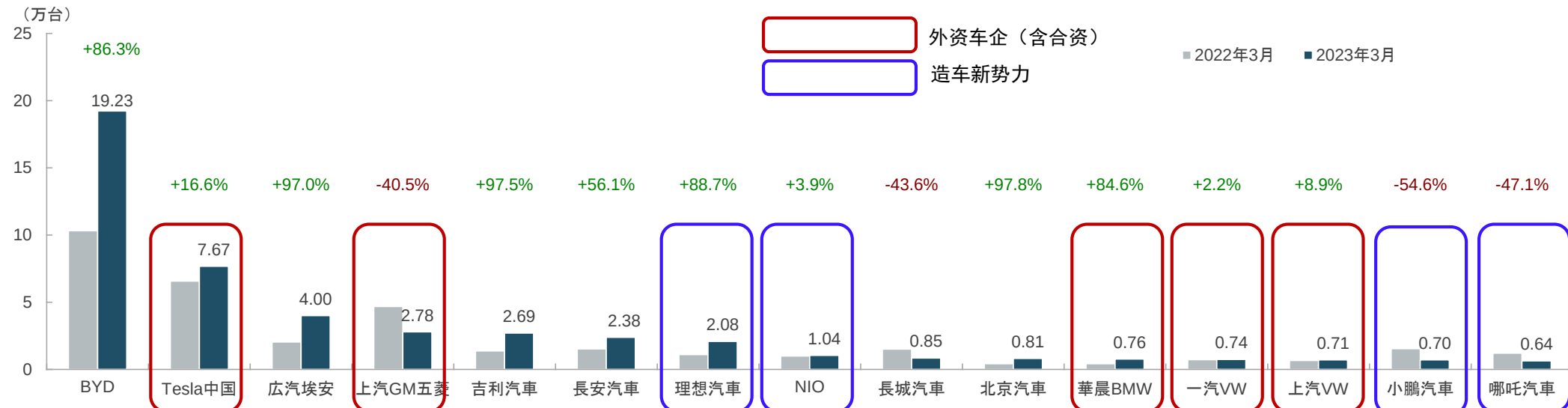
【中国自動車業界レポート(2023年3月)】

- **人気モデル**: 3月NEV乗用車販売台数Top10のうち、BYDが5モデルを占め、Top10総販売台数の52.3%を占めた。BYD以外ではTesla Model YとModel 3、三菱宏光MINI、广汽埃安Aion SとAion Yがランクイン。
- **Top15社**: 3月のNEV乗用車メーカー小売台数Top15による販売台数は計47.1万台。うちBYDは前年同月比86.3%増の19.23万台と引き続き高い伸び。他、北京汽車(+97.8%)、吉利汽車(+97.5%)、广汽埃安(+97.0%)、理想汽車(+88.7%)、華晨BMW(+84.6%)等も高い伸びを見せた一方で、上汽GM五菱、長城汽車、小鵬汽車、哪吒汽車は同減となった。

NEV乗用車月次販売台数Top10



NEV乗用車メーカー月次小売台数Top15



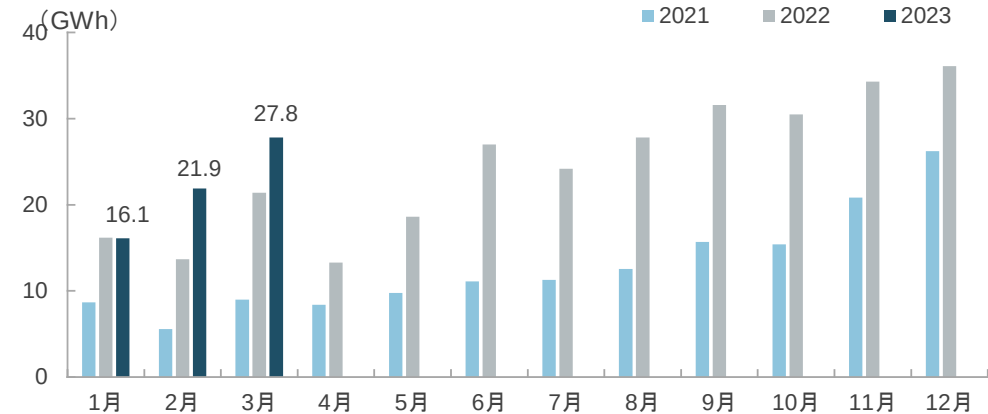
出所: 中国乗用車市場情報聯席会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.4 NEV③

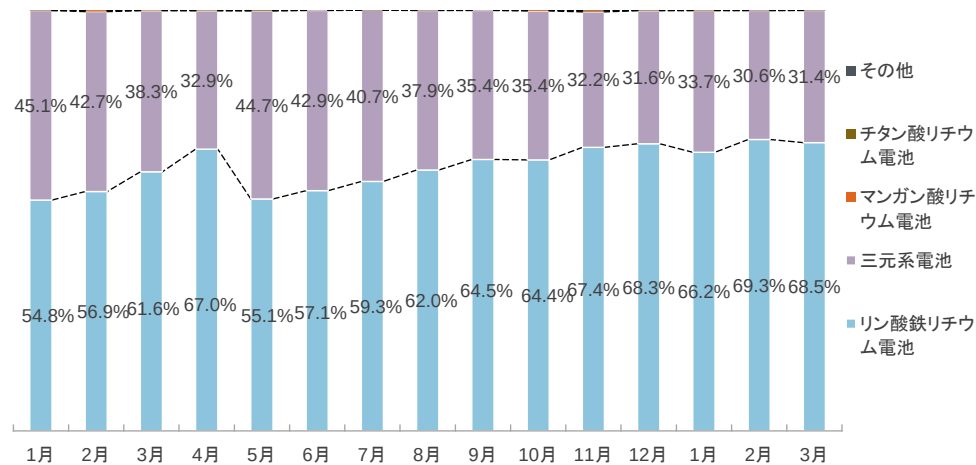
【中国自動車業界レポート(2023年3月)】

- **動力電池搭載量は引き続き増加**:3月、中国動力電池搭載量は前年同月比29.7%増の27.8GWh。うちリン酸鉄リチウム電池は同44.4%増の19.0GWh、総搭載量の68.5%。三元系電池は8.7GWh、同31.4%。第1四半期の動力電池搭載量は前年同期比28.4%増の65.9GWh。
- ✓ **Top10社**:3月は計39社の動力電池が搭載、うちTop10社の搭載量は全体の98.3%を占める計27.3GWh。3月はCATLのシェアが40%以上に回復。第1四半期のTop10社搭載量は計64.6GWh、総搭載量の98.1%。

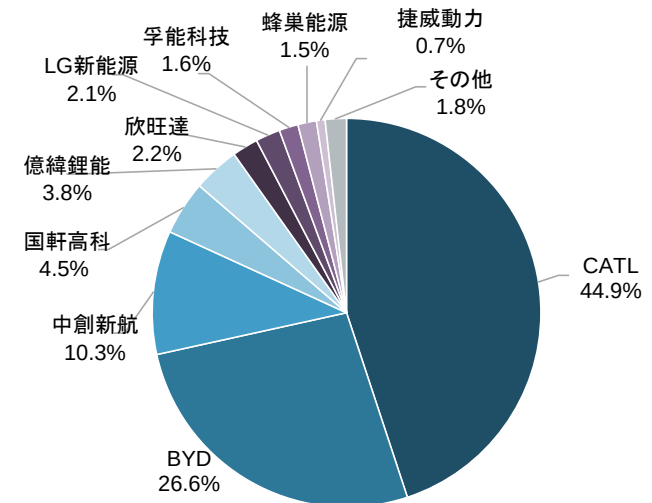
動力電池月次搭載量



動力電池月次搭載量構成比



動力電池搭載量Top10社(2023年3月)



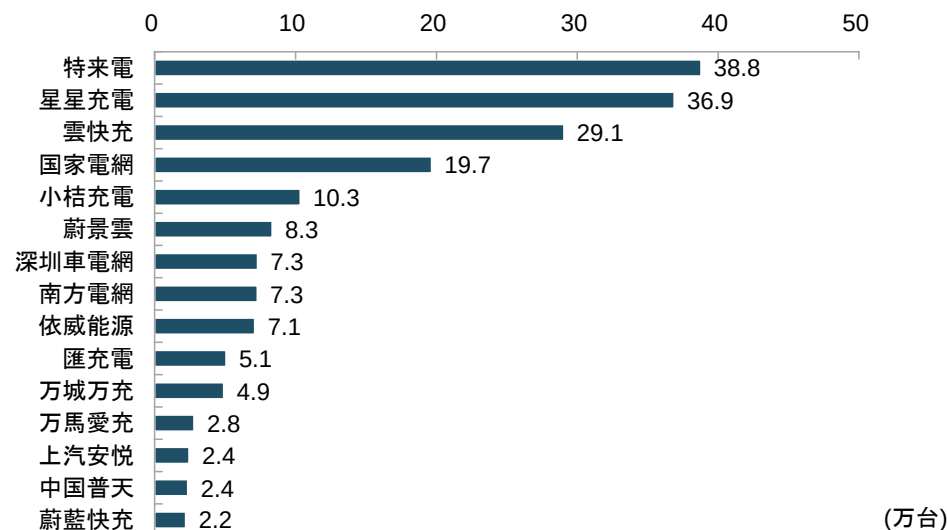
出所: 中国自動車動力電池産業創新聯盟の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.4 NEV④

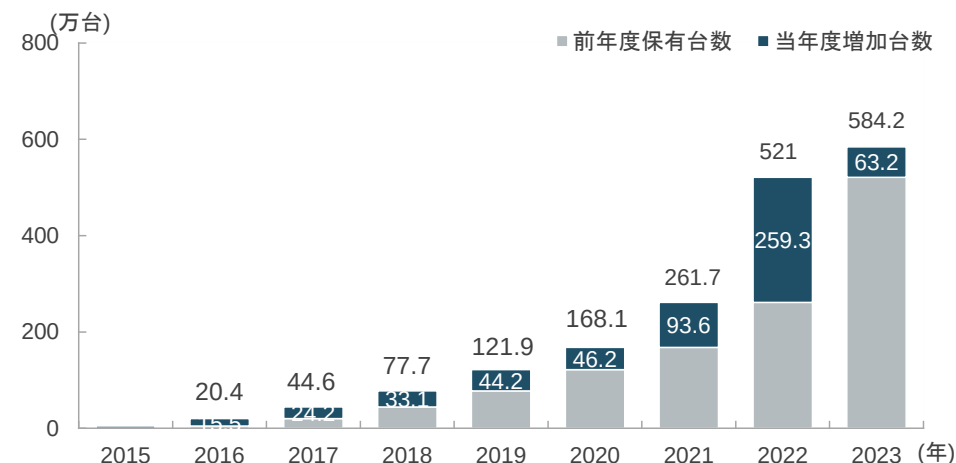
【中国自動車業界レポート(2023年3月)】

- **充電インフラはNEVと連動して成長**: 2023年1-3月、中国充電インフラ数は前年同期比28.6%増の63.2万台増加。2023年3月末時点での充電インフラ保有台数は前年同月比87.9%増の584.2万台に達している。2023年1-3月のNEV累計販売台数と同期間の充電スタンド増加台数は2.5:1となり、充電スタンドの設置ペースはNEVの急成長にも概ね対応できていると言える。
- **公共充電スタンド**: 2023年3月末時点、中国公共充電スタンド保有台数は195.8万台、うちDC充電スタンドは82.2万台、AC充電スタンドは113.6万台。公共充電スタンド運営事業者Top15社による運営台数は総台数の94.2%、うち特来电と星星充電はともに36万台以上の充電スタンドを運営し、20%以上のシェアを有する。
- **電池交換ステーション**: 2023年3月時点、中国NEV電池交換ステーション数は2,049カ所、うちNIOが全体の65.6%となる1,344カ所を運営。

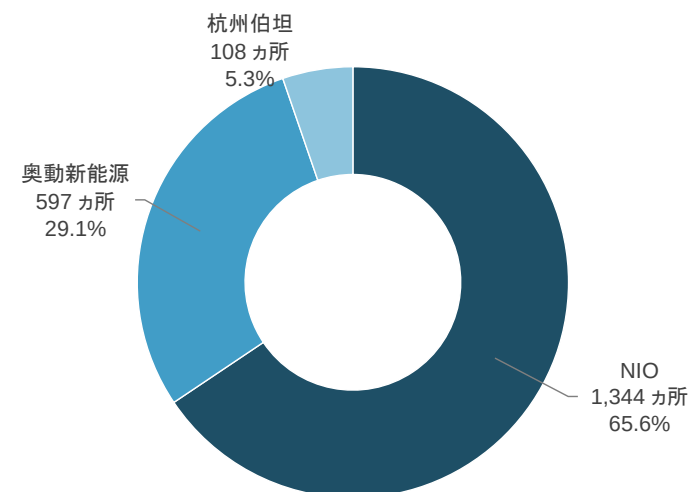
公共充電スタンド運営事業者Top15 (2023年3月時点)



中国充電スタンド保有台数



電池交換ステーション運営事業者及び構成比(2023年3月時点)



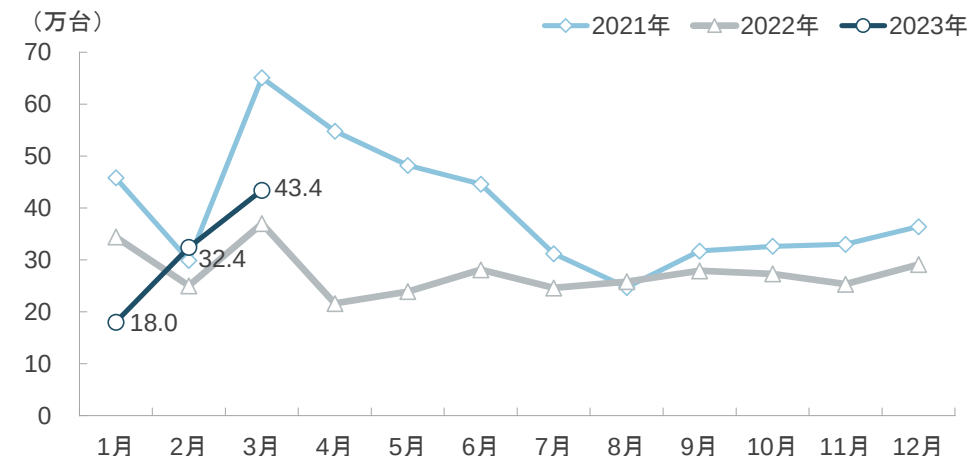
出所: 中国充電聯盟の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.5 商用車市場

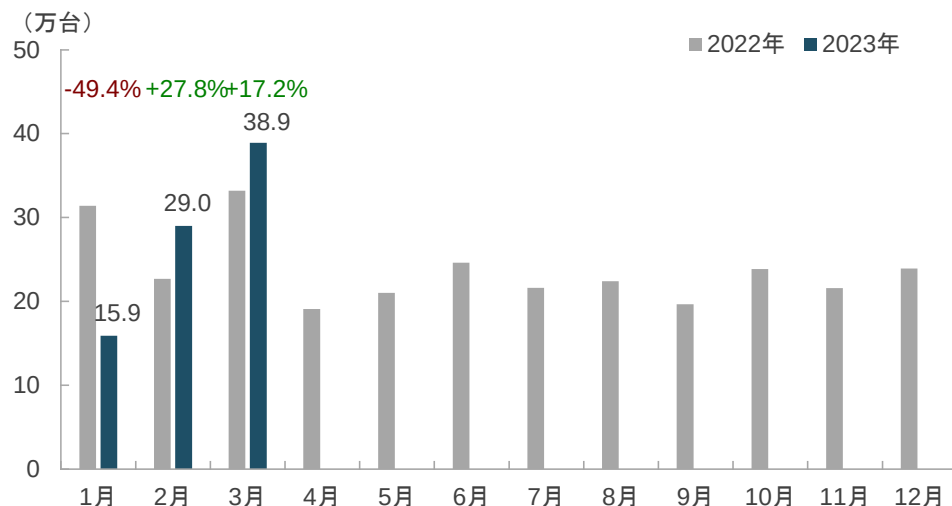
【中国自動車業界レポート(2023年3月)】

- **商用車販売の回復**: 2023年3月、商用車生産台数は前年同期比20.4%増、前月比37.1%増、販売台数は前年同期比20.4%増、前月比34.2%増の43.4万台。中国経済の回復基調が続き、インフラ建設も次々と着工、また輸出も好調。商用車メーカーでは、福田汽車、東風汽車、中国重汽等の販売台数が2桁の伸びを見せている。
- **車種別**: バス・トラックの生産・販売台数はともに前年同月比・前月比2桁成長となった。3月のトラック販売台数は前年同月比17.2%増の38.9万台、バスの販売台数は同18.4%増の4.5万台。バスの1-3月累計販売台数は前年同期比9.5%増の10万台。

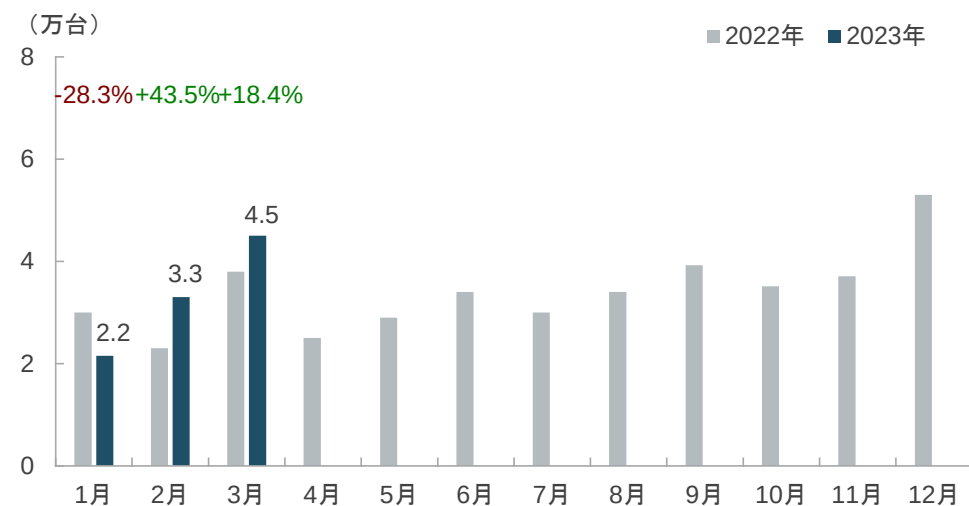
中国商用車月次販売台数



トラック月次販売台数



バス月次販売台数



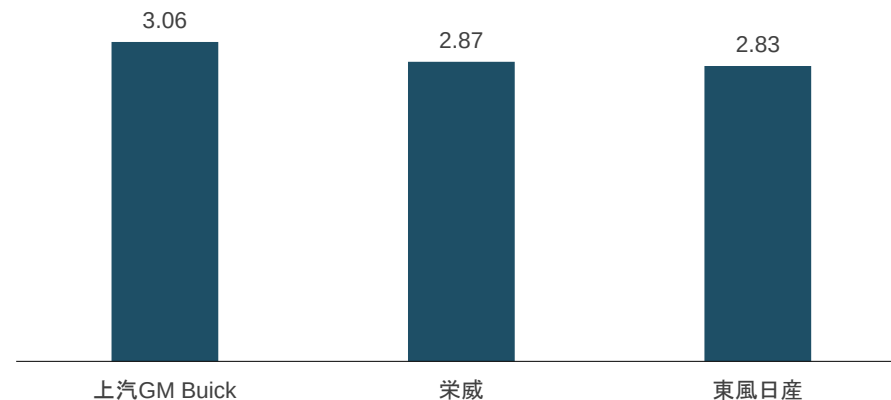
出所: 中国汽車工業協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

2 在庫

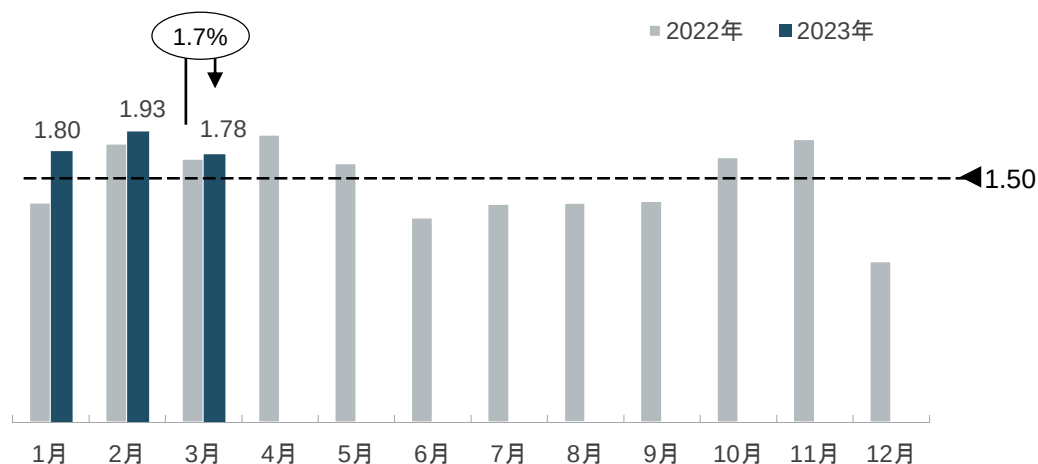
【中国自動車業界レポート(2023年3月)】

- **在庫状況**: 2023年3月、自動車ディーラー在庫係数は前年同月比1.7%上昇、前月比7.8%低下の1.78と警戒ラインを上回っている。3月は湖北省でまず補助金政策が始まり、各地でも次々と補助金政策を実施、販売価格が大きく動いたことから消費者の様子見状態が強まっている。
- **ブランド別在庫係数**: 3月、高級&輸入車の在庫係数は前月比25.3%減の1.27、合併系は同4.2%減の2.06、中資系は同6.3%減の1.63。
- **在庫深度ワースト3**: 3月、在庫係数が2か月を超えたブランドは9ブランド、うちワースト3は上汽GM Buick、荣威、東風日産。

在庫ワースト3ブランド(2023年3月)

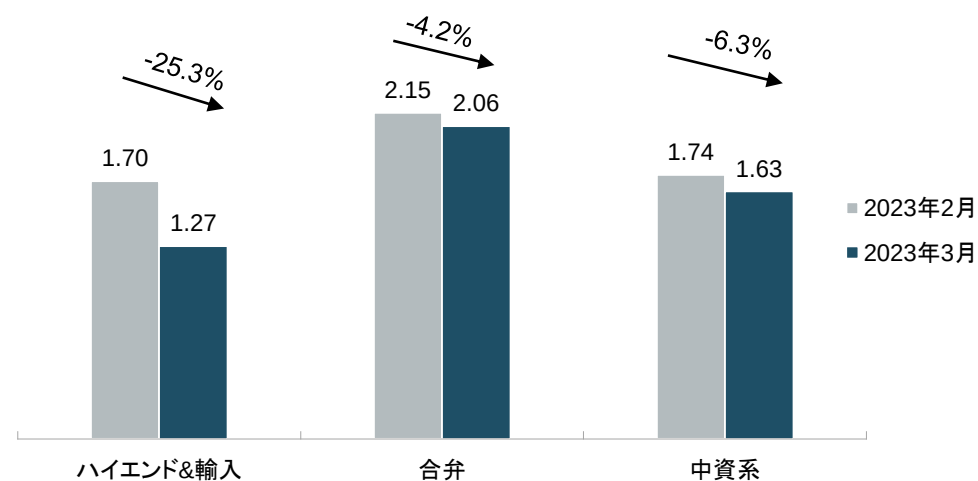


自動車ディーラー在庫係数



説明: 中国汽車流通協会は2010年7月より定期的に自動車ディーラーに対し在庫調査を行い、各メーカーの在庫状況及び業界の総合在庫係数を算出している(在庫係数=期末在庫数/当期販売台数)。在庫係数>1.5が警戒ライン

ブランド別在庫係数(2023.2~3)



出所: 中国汽車流通協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

3 新発売のモデル(3月11日-4月10日)

【中国自動車業界レポート(2023年3月)】

No.	発売日	モデル	販売価格 (万元)	モデル	排気量	航続距離 (BEVモード)	製造
1	3.18	逸達	8.79-10.79	セダン	1.5T	-	長安汽車
2	3.20	上汽 MAXUS V70	13.88-20.16	軽バス	2.0T	-	上汽大通
3	3.20	凱翼昆侖	9.99-14.99	SUV	1.6T、2.0T	-	凱翼汽車
4	3.25	風行雷霆	12.99-22.99	SUV	-	430-630km	東風風行
5	3.27	飛凡F7	22.99-30.19	セダン	-	576-666km	上汽集團
6	3.29	五菱繽果	5.98-8.38	セダン	-	203-333km	上汽GM五菱
7	3.30	藍電E5 PHEV	13.99-15.19	SUV	1.5L	110km	賽力斯
8	4.6	哪吒UQ	11.88-20.68	SUV	-	400-610km	哪吒汽車
9	4.6	型格/ INTEGRA	12.99-16.69	セダン	1.5L	-	广汽ホンダ
10	4.10	菱智M5EV	13.99-14.69	MPV	-	250-401km	東風風行

出所: 新浪汽車の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

4 業界動向(3月11日-4月10日)

【中国自動車業界レポート(2023年3月)】

No.	企業	関連動向
1	智己汽車	・ 3月16日、11kWスマートワイヤレスハイパワーを発表。より便利な充電体験を提供する
2	長城汽車	・ 3月18日、長城汽車傘下のTankブランド全シリーズで年間価格保証を発表 ・ 3月27日、長城汽車傘下の哈弗ブランド新エネ車の販売ネットワークを「哈弗龍網」を立ち上げた。今後独立した販売チャネルとして用いる予定
3	国軒高科	・ 3月20日、日本のエジソンパワー社と戦略的提携協定を締結。日本において蓄電設備とリサイクル市場を共同開拓し、日本における再生可能エネルギーの普及を促進する
4	奇瑞汽車	・ 3月20日、奇瑞汽車(大連)研究院が発足。また奇瑞汽車零部件配套産業園が大連市金普新区で着工 ・ 4月7日、NEV戦略計画を発表。2025年までに1,000億元超を投資し、300以上の研究室、研究開発人員2万人以上のR&D体制を構築する
5	BYD	・ 3月22日、BYDと米エヌビディアは提携を発表。今後、一部モデルにおいてDRIVE Hyperionを搭載、スマート運転とスマート駐車を実現する
6	トヨタ中国 海馬汽車	・ 3月24日、豊田汽車(中国)投資と海馬汽車は戦略枠組協定を締結。FCVの開発と商業化領域において協力する
7	長安汽車	・ 3月27日、長安汽車は長安深藍を深藍汽車に名称変更、将来的には独立経営を行うと発表。深藍は2022年4月設立、NEVにフォーカスしている
8	賽力斯	・ 3月30日、賽力斯集団はNEVブランド「藍電」の初モデル「藍電E5」を正式発売
9	高合汽車	・ 4月3日、高合汽車と英Meridian-Audioとは戦略提携を深めることを発表。高級車向けのオーディオシステムにおける協力を強化する
10	Jaguar Land Rover中国	・ 4月6日、Jaguar Land Rover中国とアリババクラウドは包括的提携協定を締結。双方はインフラのクラウド化、サプライチェーンと調達デジタル化、マーケティングのスマート化など様々な領域で提携する
11	一汽集団	・ 4月8日、一汽集団はトランスミッション、ハイブリッドエンジン、モーター、電池とエネルギー制御ユニットからなるHV用プラットフォームHMP(HQ Modular Power)を発表。「旗幟」スーパーアーキテクチャにおける3つ目のプラットフォームとなる
12	Tesla	・ 4月9日、Teslaは蓄電システム「メガパック」の工場を上海臨港新区に設置すると発表。2023年3Qに着工、2024年2Qに稼働予定

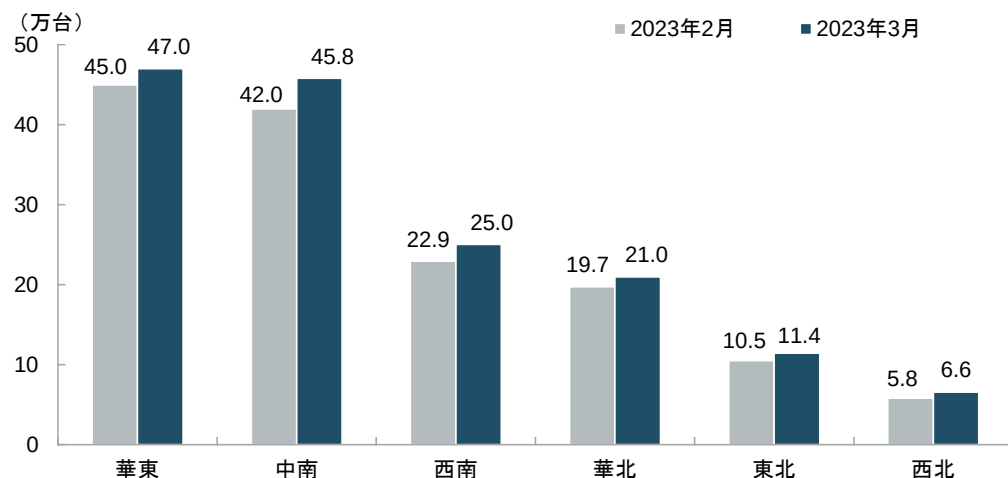
出所: 新浪汽車の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

5 中古車市場

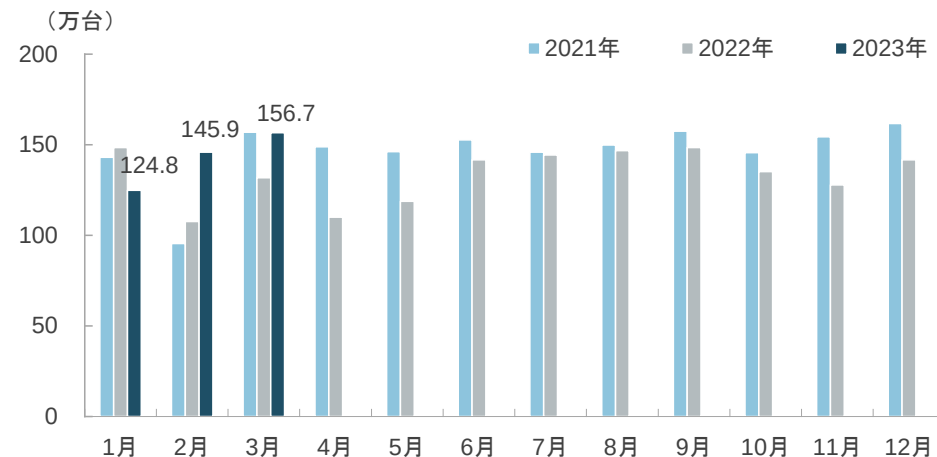
【中国自動車業界レポート(2023年3月)】

- **中古車取引台数**: 2023年3月、中古車取引台数は前年同月比18.9%増、前月比7.4%増の156.7万台。取引額は922.3億元。うち、セダン、SUV、MPVの取引台数は軒並み増加した。全国各地で販売促進策が打ち出され、買い替える人が増加、今年の中古車取引台数は伸び続ける見通し。
- **取引エリア**: 3月、中国六大エリアすべてで前月比増、取引台数最大となったのは華東エリアで4.5%増。伸びが最大なのは西北エリアで13.1%増となった。
- **省市間流通状況**: 3月の転籍率は前年同月比2.6pt増、前月比0.5pt減の26.1%。中古車取引が活発になるにつれ、省市間の流通も徐々に増加、転籍率も上昇が続く見通し。

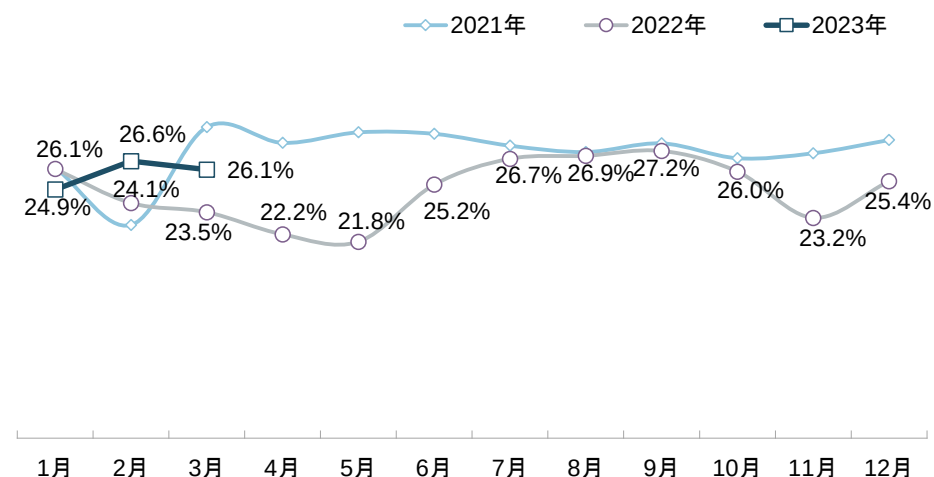
中国六大エリアの中古車取引状況



中古車月次取引台数



省市間流通状況



出所: 中国汽車流通協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

みずほ銀行(中国) 中国アドバイザー一部

張 龍 (中) long.zhang@mizuho-cb.com

藤原詩帆 (日) shiho.fujiwara@mizuho-cb.com

石田方治 (中/日) masashi.ishida@mizuho-cb.com

Copyright © 2023 Mizuho Bank (China) , Ltd.

1. 本資料は法律上・会計上・税務上の助言を目的とするものではありません。本資料中に記載された諸条件及び分析は仮定に基づいており、情報及び分析結果の確実性或いは完全性を表明するものではありません。また、当行との取引においてご開示頂く情報、鑑定評価、各種機関の見解、また政策法規・金融環境等の変化によっては、本資料に記載の仮定やスキームと乖離が生じ、提示した効果が得られない可能性があります。本資料については、そのリスクを充分ご理解の上、貴社ご自身の判断によりご利用下さい。当行は本資料に起因して発生したいかなる損害について、その内容如何にかかわらず、一切責任を負いません。
2. 本資料中に記載された企業情報は、公開情報及び第三者機関から取得した情報に基づいて作成しており、当行が顧客との取引において知りうる機密事項や非公開情報等は一切含まれておりません。
3. 本資料中に記載された情報は、当行が信頼できると考える各方面から取得しておりますが、その内容の正確性・信頼性・完全性を保証するものではありません。また、引用された出所元の資料及び文言に含まれる、または解釈される可能性のある意見や論評は、記載された出所元の意見や論評であり、当行の意見や論評を表明するものではありません。
4. 本資料の著作権は原則として当行に帰属します。本資料については貴社内部の利用に限定され、いかなる目的であれ、いかなる方法においても、無断で本資料の一部または全てを、第三者へ開示、または複写・複製・引用・転載・翻訳・貸与する等の行為について固く禁じます。